

銅鐸とは？

今から約 2000 年前、弥生時代に造られた青銅製の「まつりのカネ」です。その鑄造技術は、中国・朝鮮半島から伝えられました。やがて大型化、装飾化し、「聞く銅鐸」から「見る銅鐸」へと変化していきました。

開館 20 周年記念 銅鐸シンポジウム

「銅鐸の始まりと終わり」

日時...11 月 3 日 午前 10 時～午後 4 時(予定)

会場...歴史民俗博物館研修室

内容...弥生時代に誕生し、弥生時代の終焉とともに姿を消す謎の銅鐸。銅鐸研究の第一線で活躍する研究者を招き、銅鐸の始まりと終わりについて、最新の研究成果を交え、謎の解明に望みます。

パネラー...春成秀爾さん(前国立歴史民俗博物館考古研究部教授) 松本岩雄さん(島根県立出雲歴史博物館学芸部長) 難波洋三さん(奈良文化財研究所考古第一研究室長)

申込受付については後日、市広報等でお知らせします。



大岩山出土銅鐸

大岩山銅鐸の発見！

1881(明治14)年8月20日、野洲市小篠原の大岩山で、近くに住む少年2人が銅鐸を発見しました。この時に14個、1962(昭和37)年にも工事中に10個、計24個が発見されました。このなかには、高さ134.7cmもある「日本最大の銅鐸」があります。



大岩山銅鐸発見想像図



敷地内にはサクラの木がたくさん。春にはお花見が楽しめます。



大賀ハス / 大賀一郎博士がよみがえらせた古代のハス。(6月下旬～8月初旬ごろ)

池にはたくさんのコイが泳ぎ、小川ではサワガニがみられます。夏には、カブトムシやクワガタムシが木にとまっているのを思わず発見できることもあります。ぜひ、自然に親しみながら歴史を「体験」してみてください。



博物館敷地内の池 / スイレンが一面に咲き、コイも泳いでいます。

弥生の森を探検しよう！

弥生時代にタイムスリップできる「弥生の森歴史公園」には、古代米「赤米」を栽培する水田があり、アワやキビ、カラムシなども栽培するほか、古代の花木が育ち、豊かな自然でいっぱいです。春には、サクラ、サツキやツツジ、夏には、アジサイ、池に咲く白やピンクのスイレンなど、季節の花々が見られます。竪穴住居のそばで栽培している古代のハス「大賀ハス」は、ピンク色の大きな花を咲かせ、毎年話題になっています。遠路来園され、写真撮影やスケッチをされる方も年々増えています。

秋には、木々の紅葉が楽しめる方も年々増えています。子どもたちには「ど

～ 体験学習 ～

「いつでも」「だれでも」「手軽に」弥生時代を体験できる、弥生の森体験学習。年間を通じて開催しています。

夏休みの歴史学習や親子での思い出作りに、ぜひお越しください。

まが玉づくり (500 円 : 約 1 時間)

土笛づくり (300 円 : 約 30 分)

土器づくり (700 円 : 約 1 時間)

土の銅鐸づくり (500 円 : 約 1 時間)

土鈴づくり (500 円 : 30 分 ~ 1 時間)

プラバンづくり (300 円 : 約 30 分)

陶芸 (1,200 円 : 1 時間 ~)

土曜・日曜日、祝日はいつでも体験できます。

(事前予約不要)

夏休み期間中は毎日 (休館日を除く) 実施しています。

団体は予約が必要です。

(団体は火曜 ~ 金曜日の予約も受けています)

受付時間は午前 9 時 ~ 午後 4 時です。

粘土の作品 (土器、土笛、土鈴、土の銅鐸、陶芸) は、焼成後にお渡しします (約 1 か月後)。

8 月 17 日 までに作ると、夏休み中に焼きあげてお渡しできます。



まが玉づくり

弥生の森体験学習のなかで一番人気のあるメニューです。古代と同じ方法で、砥石で研ぎ、穴をあけ、ひもを通して、首かざりにして持ち帰れます。博物館のロビーでは、貫頭衣を着て古代人に変身し、自分で作ったまが玉を身につけて記念写真が楽しめます。



この作って楽しい！飾って楽しい！
夏の思い出に！

博物館利用案内

■ 開館時間 / 午前 9 時 ~ 午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)

■ 休館日 / 毎週月曜日 (祝日、振替休日にあたる時は火曜日) 祝日の翌日 (土曜・日曜日、祝日は開館) 年末年始 12 月 28 日 ~ 1 月 4 日

臨時休館 (改修工事および館内燻蒸作業のため)

9 月 16 日 ~ 30 日

■ 入館料 / 大人 200 円、高校・大学生 150 円、小・中学生 100 円 (20 名以上の団体は各 50 円割引)

市内在住の 65 歳以上の人 (げんきカード提示) と、市内在住の小中学生は入館無料です。

身体障がい者手帳などの交付を受けている人と、その介護者には入館料の減免があります。

企画展等により入館料を変更することがあります。

■ 駐車場・トイレなど

大型バス 5 台、自家用車 50 台が無料で駐車できます。身体障がい者用の駐車場があります。

車椅子用トイレは、博物館および弥生の森歴史公園 (体験工房 1 階) にそれぞれ設置しています。

■ 所在地・連絡先 / 野洲市辻町 57 - 1 587 - 4410、FAX587 - 4413

野洲の歴史に思いを寄せて 「歴史民俗博物館友の会」

友の会は、歴史民俗博物館が設立された昭和 63 年に同時に発足し、現在、市内外から 300 人以上の会員が在籍しています。



活動は博物館の協力を得ながらの自主活動で、古文書の解説や友の会ニュースの発行、市内各地域の歴史を巡る史跡散策、年 1 回の研修旅行など、歴史や文化財に関心のある者が集まり、歴史に対する教養を高め、あらためて郷土の良さを再認識しています。毎年夏には、博物館の敷地で「弥生の森の夏まつり」を開催し、竹馬や竹とんぼなど、子どもたちと昔懐かしい遊び体験を行っています。

野洲市は山紫水明に恵まれた豊かな自然と、銅鐸をはじめ、古墳や城跡などがある文化遺産の宝庫です。今後は、要望があれば出前講座に行ったり、まちかど博物館等を開催して、市民に野洲の歴史に興味を持ってもらい、地元を愛してもらえればと思います。そして、多くの方が気軽に銅鐸博物館を訪れ、未来を担う子どもたちが野洲の歴史を受け継いでいってくれたらと会員一同願っています。